

このまちの100年

「船橋」

船橋は鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』にも登場する歴史ある地名。古くから農業・漁業が発達した地域で、明治期以降は東京近郊の行楽地としても人気となりました。現在は商業施設も充実しています。



昭和26年

国鉄(現在のJR)船橋駅。屋根にはしごをかけ、葺き替えの作業中と思われる



昭和32年頃

桜の名所としても知られている御滝公園。御瀧不動尊の敷地の一部が船橋市に寄贈されてできた



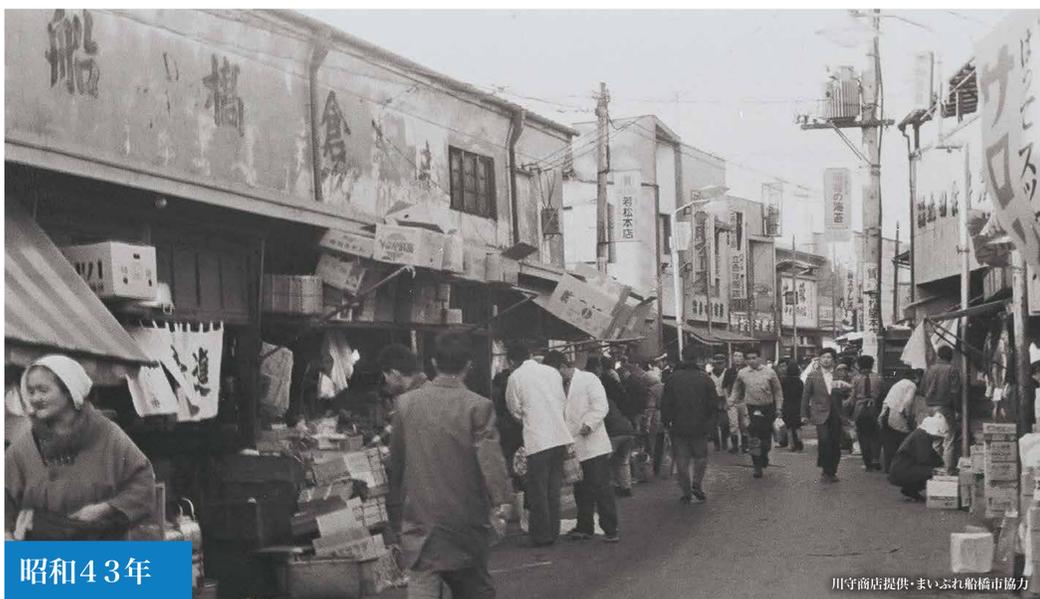
昭和33年

国鉄(現在のJR)船橋駅前の朝のラッシュ時の様子



昭和38年頃

天然温泉の大浴場、遊園地、プール、舞台などがあつた、船橋ヘルスセンター



昭和43年

船橋駅前。昭和44年に中央卸売市場が開設されるまで、駅前に民営魚市場があつた

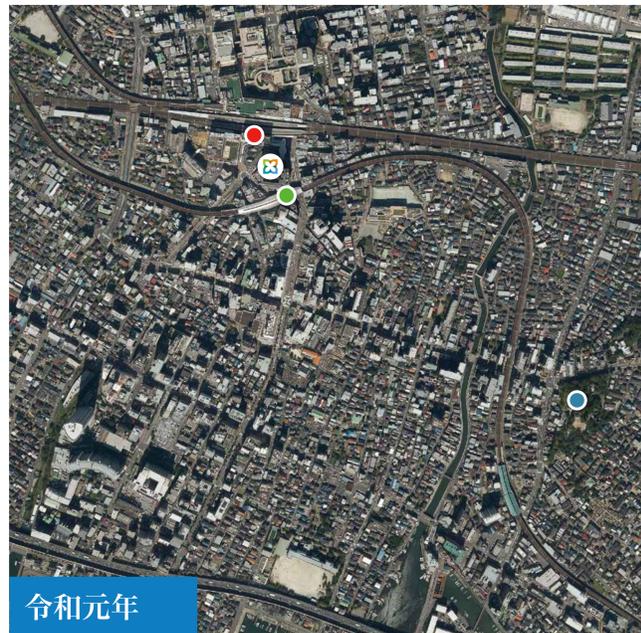
上空からみた船橋エリア



昭和21年



昭和54年



令和元年

 : 現在地
 : 意富比神社(船橋大神宮)  : 京成船橋駅  : 船橋駅

出典: 国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集: 株式会社コロモチ